人権を考える

問い合わせ　生涯学習課（☎㉒6888）

～病気と人権～

ハンセン病

ハンセン病はノルウェーのハンセン医師によって原因細菌が発見されたために名付けられた感染症です。

ハンセン病は感染力が弱く、日常生活では感染することがほとんどありません。万一、感染・発症しても優れた治療薬ができたため、早期に発見し適切な治療を受ければ後遺症も残らない病気です。

しかし、この病気は、治療薬がない時代には、病気が進むと皮膚や手足が変形したり、失明したりすることから大変恐れられていました。また遺伝病、不治の病、感染力の強い病気との誤解により、日本では明治時代から隔離政策が取られてきました。

ハンセン病患者が入所する療養所では、入所者は本名を名乗ることが許されず、重傷者の看護、目や手足の不自由な仲間の介護などのほかに、亡くなった人の火葬までが強制されていました。ハンセン病患者は生涯療養所で過ごすことになっていましたが、平成8年「らい予防法の廃止に関する法律」の施行により隔離政策が終わりました。

ところが今でもハンセン病療養所にとどまる人が少なくありません。これはあまりにも長く隔離政策が続けられたことによるものです。患者や元患者の高齢化が進んだこと、社会に根強く残る誤解と偏見による差別や親族への影響を恐れたことなどにより、療養所内で暮らすことを選ぶ人が多くなっているためです。

HIV感染とエイズ

「HIVウイルスに感染すると必ずエイズになる。エイズになったら死ぬ。うつりやすい病気だ」といった、エイズの症例が発見されたころの誤解がいまだに多くの人に広まっています。

HIVウイルス感染は治療薬の開発により、早期発見・治療ができればエイズの発症率が抑えられるようになりました。また治療を継続することにより、普通の生活が送れるようになってきています。

感染経路は性的接触・血液感染・母子感染に限られているため、注意していれば日常生活で感染することはありません。

人権問題としての認識が必要

ハンセン病やHIV感染は治療ができる病気ですが、ハンセン病の患者や元患者、HIV感染者に対する偏見や差別がいまだに解消されていない状況にあります。

平成15年には、ハンセン病療養所の入所者がホテルへの宿泊を拒否されるなどの差別事件が起こっています。またHIV感染者に対しても感染していることを理由に仕事を解雇されたり、医療機関で診察を拒否されたりするなどの人権侵害が起こっています。

現代社会ではハンセン病やHIV感染以外の病気でも誤解や偏見に苦しんでいる人がいます。病気について関心をもって正しく理解し、病気を理由とした差別につながるような言動をとらないように心掛けていきましょう。

キラリ わたしの学校☆

鬼石小学校

問い合わせ　学校教育課（☎㊿8212）
鬼石小学校（☎㊷2756）

～夢いっぱい「かがやき」運動～

鬼石小学校では「かんがえる子」「がんばる子」「やさしい子」「きちんとあいさつができる子」の頭文字をとった「かがやき」運動を展開し「笑顔・元気・やる気いっぱい鬼石っ子」を育成しています。「かがやき運動」の中にある「がんばり活動」は、行事や学習の狙いを意識して、全校、学年、縦割り班などで、年間を通して計画的に実施しています。

「がんばり活動」の活動の１つである「マラソンがんばり」では毎朝、授業前の５分間を使って校庭を走っています。低学年はトラック内側、中・高学年はトラックの外を自分のペースで走り、自分自身の目標と向き合います。また走った周をマラソンカードに記入し、自分の頑張りを貯めていきます。暑くても寒くても、１年間継続することで、走力や体力の向上、何事も続けて頑張ればできるようになるという意欲を育てています。

↑曲に合わせて自分のペースで走ります。どの子も疲れても歩かずに真剣な表情で走り続けています。

「なかよしがんばり」では、１～６年生までを含めた縦割り班の活動の１つとして、全校で遠足を行います。半日かけて桜山公園まで歩いていく中で、長距離を歩くことで養える忍耐力や、縦割り活動による思いやりと協力の心を育てています。上級生は「下級生に頑張れと励ました」「リュックを持ってあげた」「下級生のペースで歩いた」などと下級生への思いやりを見せます。また下級生は上級生の姿に憧れを抱き、上級生を目標にします。

鬼石小学校では、こういった活動を通して笑顔と元気とやる気を持った鬼石っ子を育てています。

Name
水落（みずおち）　佑介（ゆうすけ）さん　田中（たなか）　麻鈴（まりん）さん

本との出会い

図書館司書がセレクトした新刊情報

開館時間　午前９時～午後８時（土・日曜日、祝日は午後５時まで）
休館日　月曜日
問い合わせ　図書館☎㉒1669

泣きかたをわすれていた

著者▷落合　恵子
自らの終焉（しゅうえん）を見据えた先にこそ、本当の自由はある。冬子、72歳。７年にわたる認知症の母の介護、そして愛する人たちを見送った先に広がる大いなる開放とは。

無敵の思考

著者▷ひろゆき
何事も最初は仮説を立てる、お金で問題解決しない、元を取る事を考える。２ちゃんねる、ニコニコ動画などの「世界一の管理人」ひろゆき流・ストレスフリーな生き方のススメ！

三千円の使いかた

著者▷原田　ひ香
女の人生、どう貯めてどう使う？結婚、子育て、入院、離婚、老後…明るく、賢く、勇ましく生きていくために。御厨（みくりや）家を巡る「節約」ストーリー。節約アイデアも満載。